

# 「さよならは言わないよ（卒業式オリジナル曲）」の成り立ちについて

## <経緯>

平成26年4月頃、「1年後にオリジナル曲を児童・生徒たちと合唱して卒業させることができれば…」と川口教諭に作曲を依頼して、平成27年3月の小中卒業式で披露することを目標に音楽制作を開始しました。

## <歌詞について>

はじめに詞を完成させ、川口教諭にメロディーを作曲していただきました。共同作詞者の方々から出していたアイデア（単語やフレーズ）を元に、作詞をしました。児童・生徒が歌いやすいよう、親しみやすい言葉、内容を心がけました。“思い出深い学校生活”、“共に過ごした友だちとの絆”、“夢や希望に満ち溢れた未来”等をイメージして制作しました。歌唱が難しい児童生徒も楽しく歌うことができるように、サビ部分は手話を取り入れています。末永く愛され、歌い継がれる1曲になってくれることを願っています。

卒業式、卒園式での歌唱を希望される場合は、ご一報いただければ幸いです。

---

作曲：川口 澄

## <楽曲について>

平成26年6月末頃、歌詞を頂いてからすぐに本校4F音楽室へ向かい、卒業前の児童・生徒をイメージしながらメロディーを考えました。歌詞に共感できる箇所が多く、ピアノ弾き語りをしながら、サビ→Bメロ→Aメロ→イントロ…と楽曲の8割程度がその日のうちに仕上がりました。

誰でも歌いやすく覚えやすい楽曲になるよう、下記の①～④を特に意識して作曲しました。

- ① 小学部・中学部の児童生徒が歌いやすい（2～4小節で反復する）シンプルなメロディー。
- ② 年齢問わず、みんなで合唱できるよう、メロディーの音域を1オクターブ程度に設定。
- ③ 歌うときに心の準備やブレスがしっかり取れるよう、1拍目4拍目にできるだけ休符を配置。
- ④ シンプルなメロディーでも聴き応えのある楽曲にするため、コード進行に変化をつける。